



坂村真民記念館(砥部町)

笑う門には福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人: 中村剛志

七夕の教訓

明朗・愛和・喜勵

機織りの上手な織姫と、牛飼いの彦星は、七夕の夜、一年に一度だけ天の川にかかる橋の上で会うことができる、という伝説があります。

織姫も彦星も眞面目に働いていましたが、結婚した二人は働くなくなってしまいました。怒った天の神様は、天の川をはさんで、二人を引き離してしまいました。

ところが、二人があまりに悲しむので、天の神様は、毎日眞面目に働くことを条件に、年に一度だけ会うことを許したという話です。

一般的には、ロマンチックに語られる七夕伝説です。しかし一方では、「結婚や恋愛も、その扱いを誤ると痛いしつ返しを受ける」という注意を促しているとも受け止めることができます。

心豊かな生活を送る上で、大きな糧となるのが、結婚であり恋愛です。様々な娛樂や芸術も、私たちの生活を潤いあるものにしてくれます。

しかし、これらも没頭し過ぎると、仕事に支障をきたしかねません。そのバランスが保たれているからこそ、お互いを補い合い、高め合う関係になるのでしよう。

●仕事と生活のバランスを保ちましょう

「職場の教養」より

秋田緑の言の葉カード



被告ドラ不法侵入不埒にも
我が飼い猫を威嚇した罪



障子山その懐に大小の
窓広がりて砥部という里

宇和ちゃんの啖呵!!短歌

梅雨明けて カバンカン登る 螺旋階段	初夏の 薄墨羊羹 うすく切る	結女さんの松山ミクロン
--------------------------	----------------------	-------------

一日のスタートは感謝から

新しい一日を迎えたことに感謝し
世界平和を胸に今日の第一歩を踏み出しましょう。

道しるべ